

14 後期介護サービス強化期間(2014.10.1～2015.3.31)

- お客様の尊厳とご家族・関係者皆様の名誉を守り介護活動の透明性を高め
推進維持し真実に誠意を持って対処します。
- しなの森のさと品質方針・施設方針・介護感、26年度事業計画スマイル周知徹底と
実践・記録・検証の実施を図る。
- スタッフ全員の倫理管理体制の強化と実行(施設長研修等)
- 冬期感染症まん延時を予測し管理体制の強化を図る。
- 重大事故防止対策の徹底と再確認
 - ・インフルエンザ感染防止対策、ノロウイルス感染防止対策、誤嚥性肺炎防止対策
 - ・呼吸器感染症防止対策、麻痺のある方への介護技術
 - ・居室での事故防止対策(ベッド回りの注意周知)
 - ・骨粗しょう症の知識と介護技術・重大事故防止対策の自覚と介護技術知識の重要性
- 認知症介護の再確認と個別お客様サービスの見直しと実施。
- お客様個別サービスの強化と検証、介護計画の見直し
 - ・転倒防止、誤嚥・誤飲注意、褥瘡観察、オムツの状況、表現困難、言葉を失った
お客様、食事に関する事案(お客様全員の見直しとケアプランの再確認)
- 栄養管理指導を中心にお客様の個別対応強化と維持の確認。
- お客様ご容態・体調への配慮徹底と医務・介護・栄養チーム連携強化。
- 冬期・清潔と不潔の認識と排泄介助時の再確認徹底。
- お客様個人情報漏洩防止と再確認。
- 後期防火安全対策の実施と施設避難訓練の実施及び自主訓練の実施と記録。
- 冬期施設内温度・湿度管理体制の確認と実施(56箇所)。
- 品質方針・施設方針等要としたOJTの実施維持(研修生を含む全スタッフ)
- 後期介護サービス強化期間の自己目標と自己検証の実施。
- 2015、2025、ビジョンに向けての確認とお客様へ提供する良質な介護の検証。
- 重大事故防止・感染症対策の確立・高齢者への虐待防止・火災予防の強化・食の安全対策の5本柱を中心に、重度で高齢なお客様への処遇と接遇を高める為
スタッフの目的・目標意識・倫理観の維持推進。
- ISO品質管理委員会との連携強化維持
- 14 介護サービス強化期間(前期・後期)の実行強化と記録の充実
- ISO9001:2008JISQ9001:2008品質管理システムの維持

(第5期事業計画中の為一部同一文章を使用)